

第5回所沢市放課後児童対策協議会

会 議 録

令和6年11月12日

様式1号

会 議 録

会 議 の 名 称	令和6年度第5回 所沢市放課後児童対策協議会
開 催 日 時	令和6年11月12日(火) 午後2時00分から 午後3時50分まで
開 催 場 所	市庁舎 低層階 202会議室
出席者の氏名	(会議録別表1)のとおり
欠席者の氏名	
説明者の職・氏名	青少年課 仲 副主幹 青少年課 猪合 主査 青少年課 菊地 主任
議 題	(1) 令和6年度の放課後児童クラブの施設整備状況について (2) 所沢市放課後こども健全育成基本方針における重点事業の進捗管理について (3) 諮問事項について (4) その他
会 議 資 料	資料1 令和6年度放課後児童クラブの整備状況について 資料2 重点事業の進捗管理について 資料3-1 諮問書(写) 資料3-2 答申(案)について
担 当 部 課 名	こども未来部青少年課 こども未来部長 市来 広美 こども未来部次長 小池 純一 青少年課 課 長 榎本 崇義 副主幹 仲 修一 主 査 猪合 拓馬 主 任 菊地 恭平 電話 04(2998)9103

所沢市放課後児童対策協議会委員 名簿

	種別	名前	出欠席 状況	所属等
1	(1) 公募による市民	大西 奈緒	出席	公募
2		多幡 小百合	欠席	公募
3	(2) 関係団体の代表者	高田 美智子	出席	民生委員・児童委員連合会 (吾妻地区会長)
4		渡邊 雄太	出席	P T A 連合会 (美原小学校 P T A 会長)
5		宮寺 敏雄	出席	所沢市スポーツ協会
6		高田 俊一	出席	所沢市文化団体連合会
7		喜多濃 定人	出席	放課後児童健全育成事業者 (社会福祉法人光輪会)
8	(3) 知識経験を有する 者	小沢 貞泰	出席	知識・経験者
9		笹井 宏益	出席	玉川大学学術研究所特任教授
10	(4) 所沢市立小学校の 校長	戸村 達男	欠席	所沢市立小中学校校長会 (所沢市立所沢小学校長)

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>1 開 会</p> <ul style="list-style-type: none"> ■傍聴者確認（途中参加 1 名） ■会長挨拶 ■会議資料の確認 ■出席状況の報告 ■会議成立の報告
会長	<p>2 議事</p> <p>(1) 令和 6 年度の放課後児童クラブの施設整備状況について</p> <p>それでは、議事(1)「令和 6 年度の放課後児童クラブの施設整備状況について」、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>～事務局から、資料 1 に基づき、令和 6 年度の放課後児童クラブの施設整備状況について説明～</p>
会長	<p>事務局から「令和 6 年度の放課後児童クラブの施設整備状況について」説明があったが、何か質問や意見はあるか。</p>
委員一同	<p>～特になし～</p>
会長	<p>それでは、議事（1）については以上とする。</p>
事務局	<p>(2) 所沢市放課後こども健全育成基本方針における重点事業の進捗管理について</p> <p>～青少年課から、資料 2 に基づき、重点事業 1「放課後児童健全育成事業」について説明～</p>
委員	<p>目標値にさらに上積みして、保留児童対策を進めていくとのことだが、前回の会議で夏休み中の需要に対するの検討も進めているところだと思う。先日、出生数が 70 万人を割るというニュースを見たが、全国で出生数の減少が急激に進んでいるという印象がある。児童クラブの供給過多に</p>

<p>委員</p>	<p>ならないようにすることも重要な視点であると思うが、保留児童対策も進めていかなくてはならない。非常にバランスが難しいものだと思うが、夏休みの預かり事業の導入検討など、工夫をしながら運用を進めていってほしい。</p> <p>少子化が進んで児童がいずれ減るから、施設が余ってしまうから、予算には限りがあるからもったいない使い方をしないというのはその通りだとは思う。だが、理想論としては少子化傾向を回復して欲しいと考えている。</p> <p>国の将来を考えても少子化が進まないことが望ましいが、国全体のことを変えることは難しいとは思う。少なくとも所沢市では、子育てがしやすく、安心して保育園や児童クラブに入れるという状況を作っていくことで、子どもの数が減っていかないような自治体になってほしいと思っている。</p> <p>よく成功例として兵庫県明石市の例が挙げられるが、子育て世帯への支援を充実したおかげで転入も増えたとし、出生率も上がって、そういう流れができた自治体もあるということなので、理想としてはそんな自治体になってほしい。</p>
<p>委員</p>	<p>生まれ育って住みよい街を作っていくことは大前提ではあるが、新しい場所を作っていくのはコストがかかってしまう。先ほど話が出た夏休み中等に受入れができる場所のように既にあるところを活用しながら、子どもたちがどこでも行ける場所、安心して過ごせる場所を多く作ってあげることが、保護者も安心して働くことができることにつながると思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>～青少年課から、資料2に基づき、重点事業2「放課後支援事業ほうかごところ」について説明～</p>
<p>委員</p>	<p>先ほど話が出た施設を有効利用するという意味では、このほうかごところという事業を拡大していくことが保留児童対策としても効果を期待できる事業だと思うが、どうしてほうかごところを急いで増やさないのかが疑問である。</p> <p>保護者同士で話していても、なぜうちの小学校区ではやらないのか、ほうかごところがあれば十分助かるのにと書いた意見が出ている。</p> <p>次年度の方向性でも、今後も10校のほうかごところを継続していくという書き方で、どうして増やしていくとしないのか。</p>

委員	<p>地域の方に、スタッフとして協力していただくことが長期間担保される必要があり、地域としてほうかごところ事業を引き受けていこうという決心が必要になること。事業を始めて長期間経つと、スタッフも代替わりをしていく必要があり、現在実施している10校でも起こっていることだと思う。そうした時に人材を探すことや新しい人材を育成して見守りの部分で支障がないように展開していかなければならない。</p> <p>そうした地域への働きかけをして、地域として準備が整っているので導入したいといった声が上がってくるのが次のステップになるのかなと思う。</p> <p>来年度からコミュニティスクールが全校で導入されるので、その研修会に参加した際に感じたことは、地域の方がどう引き受けたらいいのか戸惑っている最中だなという印象を受けた。そうした状況の中でほうかごところを展開していくというのは生易しいことではないと、研修会で地域の方の話聞いた時に感じた。</p>
委員	<p>所沢市で実施しているほうかごところは地域主導、地域ありきの事業スタイルになっている。児童クラブは市役所がリードしているのと違い、ほうかごところは元々地域立がコンセプトの事業ではあると思うが、そのコンセプトを見直してはどうかと思った。</p> <p>地域立を前提としている今のルールだと敷居が高く、地域の熱量を求められても今の保護者にその余力はない。</p> <p>東京都の自治体の中では全小学校で放課後支援事業を実施しているのを見たことがあるが、そういったところは行政の方で政策をリードしているのではという印象を持った。</p> <p>なので、根本的な考え方を転換してもいいのかなと他の委員の話聞いて思った。</p>
会長	<p>江戸川区で実施しているすくすくスクールは放課後子供教室の事業が始まる前から先行して実施をしていて、その後に国の補助事業ができてようやく追いついてきたところ。所沢市も時間をかけて整備するほうがいいかと思う。</p> <p>事務局は意見があったことを事業の所管課に伝えてほしい。</p>
委員	<p>ほうかごところは地域の方や保護者がスタッフになっていることが多い。今の子どもは問題が多様化・複雑化していて難しい部分があるが、地域の人が見守ってくれている、わかってくれている。</p>

	<p>気になる児童の様子を聞きたいときに会話の中で話を出すと、その児童の事をよくわかってきていて、行政が主導することも大事だと思うが子育てをしている保護者が、自分の子どもだけでなく周りの子も含めて見守ることのできる場になっていて、ほうかごところを卒業して中学生になっても関わりがあるので、地域で見守るといことはとても大事なことだと思う。</p>
委員	<p>ほうかごところ事業を見て、地域の繋がりにも繋がっていくいい事業だなと感じている。保護者と話していても、スタッフをやってみたいという声も聞こえるが、難しいのはマネジメントの部分だと思う。</p>
委員	<p>ほうかごところの開設について、情報を伝える機会が増えたほうがいいのではないと思う。地域でほうかごところを開設してほしいと行政に言ったら開設してもらえと思っている方が一定数いる。そうではなくて、地域・保護者の準備と協力等があって初めて行政と一緒に進めていけるということの宣伝が必要だと感じる。</p> <p>～青少年課から、資料2に基づき、重点事業3「放課後子ども総合プラン推進事業」について説明～</p>
委員	<p>11校中8校を達成していて、3校が未達成とのことだが、ひろばと児童クラブの距離の問題があるので仕方のない部分であると思う。一緒に遊ぶというのは難しいかもしれないが、地域で子供を見守る体制を作っていくことが連携の第一歩になるのかなと思う。</p> <p>～こども福祉課から、資料2に基づき、重点事業4「障害児支援事業」について説明～</p>
委員	<p>放課後デイサービスでは、ここ数年施設利用の問合わせが増えている。利用日数の増を希望したり、特別支援学校・学級への入学者も増えている中で、施設を増やす予定はあるのか。</p>
こども福祉課	<p>第6次所沢市障害者支援計画の中で定めている障害児福祉計画に基づいて施設の供給量を定めている。放課後デイサービスに関しては計画期間内に供給量が不足する見込みのため、整備に関する手続きを進めている。整備に当たっては、送迎エリアや児童の特性によって選択肢に差異が生じ</p>

	<p>ないように平準化できるような条件を付して、今年度事業者の公募を行ったので、事業所が拡充される見込み。</p> <p>～こども家庭センターから、資料2に基づき、重点事業5「児童家庭相談事業」について説明～</p>
委員	<p>事業の評価について、見逃してはいけないので目標値を高く設定しているが、虐待等は無いに越したことはない。どのくらいの件数の相談があると適切なか達成率や事業評価の判断が難しい事業だと思う。</p>
委員	<p>児童相談所は県の管轄、こども家庭センターは市の管轄で、複数の子育てに関する相談をする窓口があるということでもいいか。</p>
こども家庭センター	<p>こども家庭センターに相談をいただければ、どこの部署につながっても担当者につなげることができる。また、相談の内容によっては児童相談所につなぐこともできる。保護の権限は市にはないので、そういった判断は児童相談所や警察と一緒にということもある。</p>
委員	<p>一つリーフレットを見ての意見だが、メールアドレスが掲載されているものをQRコード等から送信できるようにしてはどうか。少しでも面倒に思う事があると、それで相談することをやめてしまうこともあると思うので、相談に当たってのハードルを下げる必要がある。また、若い世代は電話が苦手な人が多いと聞くので、チャット形式で相談できるようなことを検討していくこともいいかと思う。</p>
こども家庭センター	<p>子育てガイドブックにはQRコードで掲載しているところではあるが、いただいたご意見について、検討していきたい。</p>
青少年課	<p>～青少年課から、資料2に基づき、重点事業6「ふるさと所沢親子で再発見事業」について説明～</p>
会長	<p>何か質問・意見はあるか</p>
委員一同	<p>特になし</p>

	(3) 諮問事項について
事務局	～事務局から、資料 3-1, 3-2 に基づき、答申（案）について説明～
会長	<p>ただいま、事務局から重点事業について事務局案として作成した答申（案）についての説明と、答申（案）の修正方法について説明がされた。</p> <p>修正方法は、意見が提案の内容に大きく影響を及ぼすと思われる場合には、この場で協議会としての合意形成を図る。</p> <p>意見が各論である場合には、合意形成は図らず、答申案への反映について会長と事務局とで協議する。</p> <p>とりまとめた修正案は後日各委員へ送付し、確認いただいた後に次回協議会で確定する。とのことである。</p> <p>まずは、この流れについて何か質問等はあるか。</p>
委員一同	特になし。
会長	<p>それでは、答申（案）について意見を交わしてもらいたい。まず、重点事業 1 「放課後児童健全育成事業」について、何か意見・質問はあるか。</p>
委員	<p>「市がこれまで取り組んできた施設整備」について、以前視察に行ったクラブで小学校の特別教室を整備して、放課後児童クラブとして活用することで双方にメリットが出てくるようなことがあった。「学校施設を活用した施設整備」と記載することを検討したらどうか。</p>
事務局	<p>教育委員会とも協議の上、記載方法を検討する。</p>
会長	<p>他に意見がないようなので、重点事業 1 については以上とする。</p> <p>次に、重点事業 2 放課後児童支援事業「ほうかごところ」の答申案について何か意見・質問はあるか。</p>
委員	<p>ほうかごところの設置について、地域の要望があることが前提とのことだが、この事業を知らない保護者も一定数いる。事業のことを知らなければ、地域から要望も出ようがないと思う。</p>
委員	<p>ほうかごところの制度を知っていて、地域に需要があっても、保護者は開設までにどういったプロセスがあるかわからない。主体は地域で問題な</p>

	<p>と思うが、最初の一步にサポートがあればと思う。</p>
会長	<p>文言としては、「市からの情報提供」と「開設に当たったの支援」について盛り込めないか事務局と表現について調整する。</p>
会長	<p>次に、重点事業3 放課後子ども総合プラン推進事業の答申案について何か意見・質問はあるか。</p>
委員一同	<p>特になし。</p>
会長	<p>それでは、重点事業4～6について、協議会から意見があれば答申として提出することを検討するとなっているが、何か意見はあるか。</p>
委員	<p>これまでの協議会では事業の進捗確認や事業内容の確認が主で、事業の方向性等については議論が深まっていないように思うので、この状態で問題ないと思う。</p>
会長	<p>答申として提出する意見はなしということで問題ないか。</p>
委員一同	<p>問題なし。</p>
会長	<p>受けた諮問に対して、答申の方向性が定まったかと思う。事務局は本日出した意見を反映した答申（案）2の作成を進めてほしい。</p> <p>(4) その他</p>
会長	<p>続いて、議事(4)その他について、事務局より願います。</p>
事務局	<p>2点ある。1点目は、「子ども・子育て会議」が8月に開催されたので、事務局から報告をさせていただく。2点目は、今後のスケジュールについてである。</p>
会長	<p>それでは、1点目の「子ども・子育て会議」の報告を事務局より願います。</p>
事務局	<p>～事務局から、「令和6年度第2回所沢市子ども・子育て会議」につい</p>

	て報告～
会長	それでは続いて、今後のスケジュールについて事務局よりお願いします。
事務局	次回の第6回協議会の開催は、令和7年2月を予定していて、議題は、「市長の諮問事項に対する答申について」を予定している。
会長	議事（4）について、何か意見・質問はあるか。
委員一同	特になし。
会長	それでは、以上で、本日予定されていた議事は全て終了する。
	～閉会～